

ブラジル:プレソルトの石油生産量 50 万バレル/日を突破 ～今後の生産増はいかに

(Platt's Oilgram News、International Oil Daily、Business News Americas 他)

1. プレソルトの石油生産量が 50 万バレル/日を突破した。ブラジルの石油生産量に占めるプレソルトの割合は20%を超え、Santos Basin で生産される石油の割合も14%を占めるようになった。2014年に入り、同国の石油生産量も回復に向かっている。遅れ気味だった Petrobras の新規プロジェクトにも進展がみられつつあるようだ。
2. 政府は Petrobras に、プレソルトで石油換算 98 億～152 億バレルを生産する権利を、入札なしで追加付与した。Petrobras が現状以上に探鉱・開発を行えるのかとの疑問の声も上がっているが、政府や同社はプレソルト開発に関する法制度の変更や資産売却を含め対応策を検討している。
3. 環境問題、Petrobras を巡る疑惑、熟練労働者不足、製油所の完成等が、今後のブラジルの探鉱・開発・生産に影響を与える可能性があり、動向を注視していく必要がある。

1.プレソルトの石油生産量 50 万バレル/日を突破

ブラジルでは、プレソルトの石油生産量(NGLを含む)が2014年6月24日に合計で52万バレル/日となり、初めて50万バレル/日を超過した。生産井数は25坑で、Santos Basin の油田の生産量が27.4万バレル/日、Campos Basin の油田の生産量が24.6万バレル/日であった。

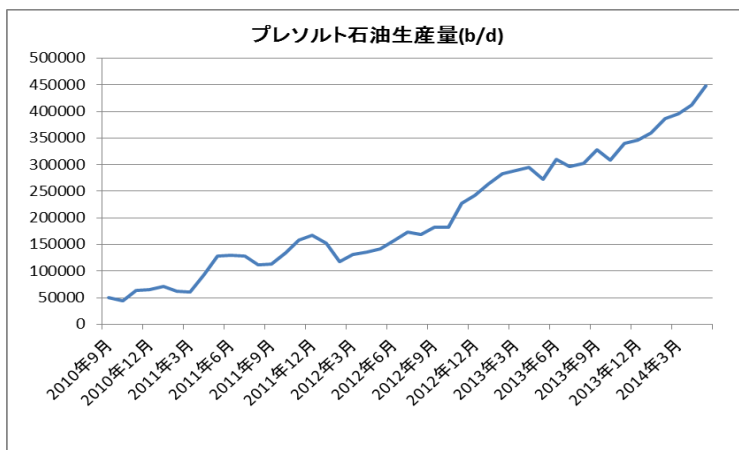
2006年にSantos BasinのプレソルトでTupi油田(現在のLula油田)が発見されてから8年、2008年9月にCampos BasinのJubarte油田でブラジル初のプレソルトからの生産が開始されてから6年での石油生産量50万バレル/日超過となった。1953年にPetrobrasが創立されてからブラジルの石油生産量が50万バレル/日を超えるまでには31年かかっており、当時の生産井数は4,108坑であった。石油生産量が50万バレル/日を超過するまでには、メキシコ湾で20年、北海で10年かかっており、これらと比較しても、ブラジルのプレソルト開発は早いペースで進められているといえることができるだろう。

プレソルトの石油生産量を月別にみると、2013年11月から7か月連続で生産量が増加しており、2014年5月は石油が448,200バレル/日、ガスが16.1MMm³/d、合計で549,300boe/dとなっている。5

Global Disclaimer(免責事項)

本資料は石油天然ガス・金属鉱物資源機構(以下「機構」)調査部が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用であることを明示していただきますようお願い申し上げます。

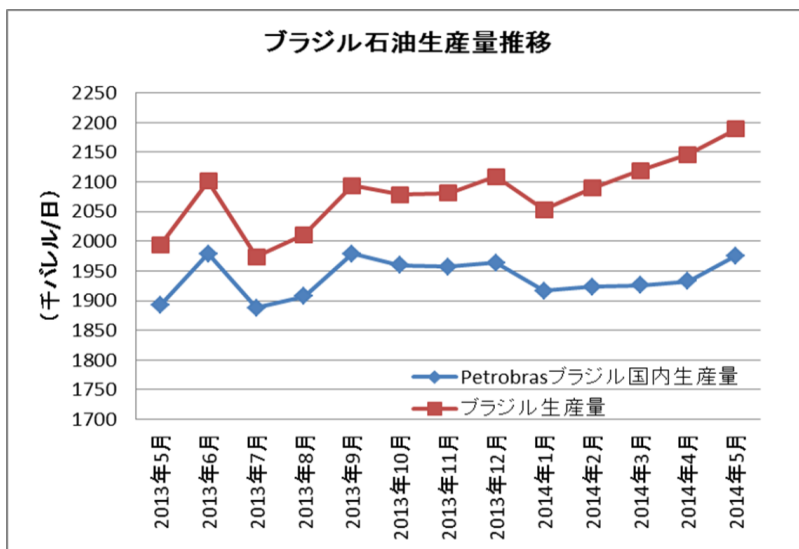
月は Baleia Azul、Baleia Franca、Jubarte、Barracuda、Caratinga、Buzios、Linguado、Lula、Marlim Leste、Pampo、Tupi Nordeste、Sapinhoa、Trilha の 13 油田、33 坑から生産が行われている。プレソルトで最も生産量が多いのは Sapinhoa 油田の SPS-77 号井で、生産量は 3.6 万バレル/日となっている。なお、プレソルトの油田で生産が開始された 2008 年 9 月から 2014 年 4 月までのプレソルトの累計生産量は 3.43 億バレルとなっている¹。



(ANP ホームページより作成)

ブラジル全体として見た場合にも、5 月の石油生産量は 218.9 万バレル/日と 4 か月連続で増加しており、回復傾向にあることがうかがわれる。生産井数は沖合が 797 坑、陸上が 8,278 坑で、ブラジル全体では 9,075 坑から生産が行われた。

生産開始が遅れがちとなっている Petrobras の新規プロジェクトは、3 月に Baleia Azul Norte 鉱区 Parque Baleias 油田の P-58 プラットフォームが、5 月に Roncador 油田の P-62 プラットフォームの生産が開始された。Petrobras が 2013 年に策定した 5 年計画 Business and Management Plan (BMP) 2013-2017 より生産開始の時期が数か月遅れてしまったものの、2014 年 2 月に発表した BMP 2014-2018 にそった生産開始となった。2014 年第 2 四半期に生産開始が予定されていた BC-20 鉱区 PapaTerra 油田の P-61 プラットフォームはすでに同油田に到着、間もなく生産を開始する予定とされ、FPSO Norte Cidade de Ilhabela と Cidade de Mangaratiba も同年下半期には BM-S-9 鉱区 Sapinhoá 油田、BM-S-11 鉱区 Iracema Sul 油田に到着予定とされている。メンテナンスが続けられてはいるものの、2013~2014 年に生産を開始した生産設備と油井のつなぎこみが進み、Petrobras の生産量も増加量は少ないながらも 4 か月連続で増加し 5 月には 197.5 万バレル/日となった。



(ANP、Petrobras ホームページより作成)

¹ Platts' Oil gram News 2014/6/4

Global Disclaimer (免責事項)

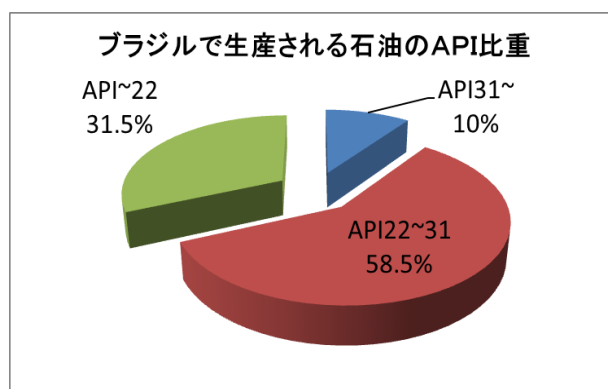
本資料は石油天然ガス・金属鉱物資源機構（以下「機構」）調査部が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用であることを明示していただきますようお願い申し上げます。

2013～2014 年生産開始(予定)の Petrobras の生産設備

鉱区 油田 生産設備	生産開始予定 BMP2013-17 BMP2014-18	生産開始	生産能力
BM-S-9 Sapinhoá Pilot Cidade de Sao Paulo MV23	2013/1/5	2013/1/5	12万バレル/日、 5MMm3/d
BM-S-40 Baúna Cidade de Itajaí	2013/2/16	2013/2/16	8万バレル/日、 2MMm3/d
BM-S-11 Lula NE Pilot Cidade de Paraty	2013/5/28	2013/6/6	12万バレル/日、 5MMm3/d
BC-20 PapaTerra P-63	2013/7/15	2013/11/12	14万バレル/日、 1MMm3/d*
Roncador Roncador III P-55	2013/9/30	2013/12/31	18万バレル/日、 6MMm3/d
Baleia Azul Norte Parque Baleias P-58	2013/11/30 2014 1Q	2014/3/17	18万バレル/日、 6MMm3/d
Roncador Roncador IV P-62	2014/3 2014 2Q	2014/5中旬	18万バレル/日、 6MMm3/d
BC-20 PapaTerra P-61	2013/12/31 2014 2Q	—	14万バレル/日、 1MMm3/d*
BM-S-9 Sapinhoá Norte Cidade de Ilhabela	2014/9 2014 3Q	—	15万バレル/日、 6MMm3/d
BM-S-11 Iracema Sul Cidade de Mangaratiba	2014/11 2014 4Q	—	15万バレル/日

(PETROBRAS AT A GLANCE 他をもとに作成、*P-61 と P-63 をあわせた生産能力)

プレソルトの油田で生産される石油が増加したことで、ブラジルの石油生産量に占めるプレソルトの石油生産量の割合は 2010 年 9 月に 2.5%、2011 年 5 月に 6.2%と増加し、2014 年 5 月には 20.5%と 20%を上回るようになった。このような変化に伴い、ブラジルで生産される石油に占める Campos Basin で生産される石油の割合は 2010 年 9 月の 84.4%から 2014 年 5 月には 75.6%に減少、Santos Basin で生産されるそれは 2010 年 9 月の 2.4%から 2014 年 5 月には 14.3%に増加している。一方で、Petrobras がオペレーターを務める油田で生産される石油の割合は 90.7%となっており、2010 年当時と大きな変化がなかった。Petrobras 以外では、BG が 61,736 バレル/日、Statoil が 47,122 バレル/日を生産している。生産される石油の API 比重は 22 度以下の重質が 31.5%、22～31 度の中質が 58.5%、



(ANP ホームページより作成)

Global Disclaimer(免責事項)

本資料は石油天然ガス・金属鉱物資源機構（以下「機構」）調査部が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用であることを明示していただきますようお願い申し上げます。

31 度以上の軽質が 10%で、平均は 24.5 度となっており、これについても変化がなかった。

Petrobras によると、プレソルトで坑井を掘削するには 1 日当たり約 100 万ドルのコストがかかっているが、Lula 油田や Sapinhoa 油田で坑井を掘削するのに必要な日数が 2010 年の 126 日から 2013 年には 60 日に減少したことで、必要とされるコストも 1 坑当たり 55%、約 6,600 万ドル削減できるようになった²。Petrobras の Maria Graca Foster CEO によると、同社は 2004～2013 年の 10 年間にプレソルトの探鉱・開発に 200 億ドルを投じており、2018 年末までには累計で 1,020 億ドルを投じることになるという³。その結果、プレソルトの生産量は 2014 年末までに 60 万バレル/日に達し、2014 年年間ではプレソルトで 50 万バレル/日を生産予定であるという⁴。Petrobras は BMP2014-2018 で、2018 年の同社のブラジル国内生産目標を 320 万バレル/日に設定しているがこの 52%にあたる 166.4 万バレル/日をプレソルトの油田から生産するとしている。

2. Petrobras にプレソルトで生産を行う権利を付与

6 月 24 日、国家エネルギー政策会議(CNPE: National Energy Policy Council)は Petrobras に、プレソルトの 4 鉱区で既に契約を結んでいる累計 50 億バレルを超えて原油を生産する権利を、入札によらずに付与することを決定した。Petrobras は 2014 年にサインボーナスとして 20 億レアル(8.97 億ドル)を政府に支払う。Petrobras は、また、利益原油の政府シェア分として 130 億レアルを生産に先立って、2015 年に 20 億レアル、2016 年 30 億レアル、2017 年、2018 年は各 40 億レアルと分割して支払うことになる。さらに、税、ロイヤルティとしてコスト回収後に 76.5%を政府に支払う。

Petrobras は 2010 年 9 月に史上最大といわれる新株発行(670 億ドル)を行った。その際、ブラジル政府はサントス盆地のプレソルトの 7 つの鉱区で石油換算 50 億バレル相当を生産する権利を認める Transfer of Rights(TOR)契約を Petrobras と締結、その見返りとして同社より新株の一部 425 億ドル相当を取得した。契約期間は 40 年で、5 年の延長が可能である。このうち、最初の 4 年間は探鉱期間とされ、2 年の延長が認められた。

2014 年 5 月 9 日、Petrobras は、探鉱の結果 Transfer of Rights の 6 鉱区で合計石油換算約 50 億バレルの石油、ガスの埋蔵量を確認したと発表した⁵が、実はこれらの 6 鉱区には当初想定していた 50 億バレルよりも 5 倍程度多い可採埋蔵量が賦存していることが判明した⁶。特に Buzios(元 Franco)鉱区、Entorno de Iara 鉱区、Florim 鉱区は合計で、昨年 10 月に入札が行われた Libra 油田(可採埋蔵量 80～

² Enrgymen 2014/7/3

³ Platts' Oil gram News 2014/6/4

⁴ Platts' Oil gram News 2014/5/28

⁵ 中南米経済速報 2014/5/12

⁶ International Oil Daily 2014/6/30

Global Disclaimer(免責事項)

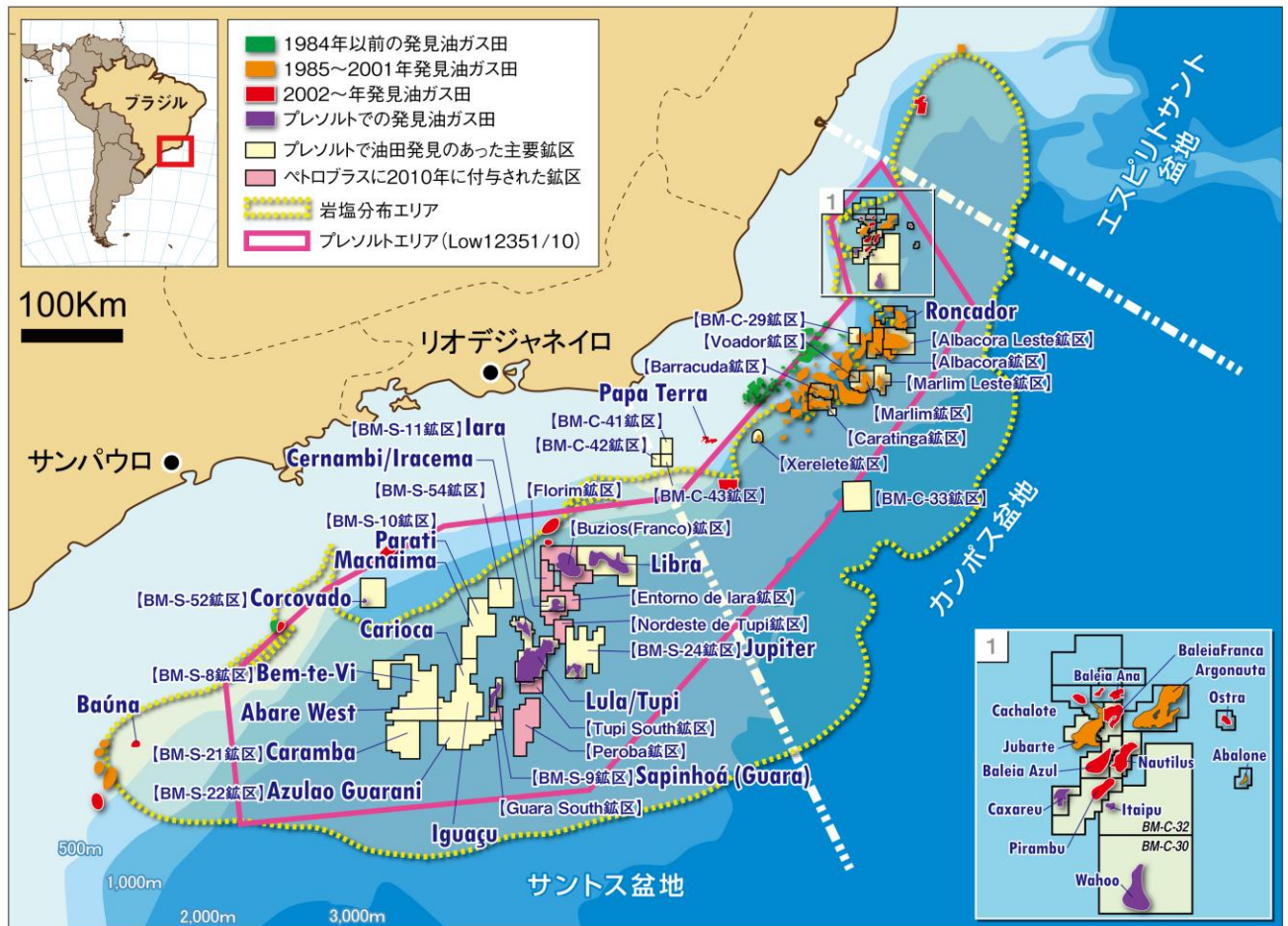
本資料は石油天然ガス・金属鉱物資源機構(以下「機構」)調査部が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。

2010年に政府が Petrobras に 50 億バレルの生産を認めた
 サントス盆地プレソルトの鉱区 (石油換算 百万バレル)

鉱区	政府より生産を認められた量
Florim	467
Buzios(Franco)	3,058
Entorno de Iara	600
Nordeste de Tupi	428
Guara South	319
Tupi South	128
Peroba	-
計	5,000

(各種資料より作成。Peroba 鉱区は、今後、Petrobras が他の 6 鉱区の埋蔵量の再評価を行い、その結果、これらを合わせても埋蔵量が 50 億バレルに満たない場合の予備とされた。)

ブラジル主要鉱区図



(各種資料より作成)

Global Disclaimer (免責事項)

本資料は石油天然ガス・金属鉱物資源機構（以下「機構」）調査部が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用であることを明示していただきますようお願い申し上げます。

120 億バレル)を上回る可採埋蔵量が賦存すると評価された⁷。

そこで、政府は Buzios、Entorno de Iara、Florim、Nordeste de Tupi の 4 鉱区で 50 億バレルを超えて生産することを Petrobras に認めることとした。Petrobras は石油換算 98 億～152 億バレルと推定される追加生産が可能になった。

4 鉱区で 98～152 億 boe の石油を生産する権利を取得したことを、FosterCEO は素晴らしい機会であると評価している。しかし、Petrobras に探鉱・開発余力があるのかという点については疑問を呈する向きもある。

というのも、Petrobras は、現在 Campos Basin のポストソルト、プレソルト、Transfer of Rights の探鉱・開発を推進中で、短期的、中期的に自らが探鉱・開発可能な以上の可採埋蔵量を保有しており、すでに手いっぱい状態にある。Petrobras は 2014 年 4 月に、Santos Basin、BM-S-10 鉱区を政府、ANP に返還した。同鉱区では Parati 油田、Macunaima 油田が発見されていたが、評価井を掘削したところ生産ポテンシャルが限定的であったというが、Petrobras がプレソルトの鉱区を政府に返還したのは初めてのことであった。

また、政府のインフレ抑制政策に協力するため、Petrobras は国際市場価格で輸入したガソリンやディーゼル、LNG を国内で割安な価格で販売し、その逆ザヤを負担しており、そのため、Petrobras の収支は逼迫している。今回、Petrobras は政府に 5 年間で 150 億リアルを支払うこととなったが、これは同社の 2014 年から 2018 年の探鉱・開発・生産部門への投資額 1,539 億ドルの約 4.5%にあたる。新たに付与された権益の開発には、この 1,539 億ドルとは別に 600 億ドルの投資が必要との見方があるが、これは同社の 2014 年から 2018 年のプレソルトの探鉱・開発・生産に対する投資額の 3/4 にあたる。苦しい財務状況の中から、これだけの資金を捻出するのは、Petrobras にとって厳しいことと考えられる。

さらに、ブラジルではローカルコンテンツが厳しいので、資機材やサービスの入手は難しいとされており、そのような状況で追加してこれらを確保することは困難を伴うと思われる。

このような状況から、Petrobras はすでに過剰な債務負担をさらに増やし、業績が圧迫されるのではないかと懸念も高まっている。今回取得した権益の開発を進めるために、Petrobras は、すでに進めている資産売却を加速させたり、現在の生産計画を遅らせたりする必要も出てくるのではないかと見方をする向きもある⁸。

一方で、昨年入札が実施された Santos Basin プレソルト Libra 油田(可採埋蔵量 80～120 億バレル)のサインボーナスが 150 億リアルであったのに対し、ほぼ同量の生産が期待される今回の権益はサインボーナスが 20 億リアルであったことから、Petrobras は入札なしで有望な鉱区を取得し、生産目標を達成す

⁷ Eurasia Group Note”Brazil:Contract extension to Petrobras makes opening of pre-salt in 2015 more likely”

Global Disclaimer(免責事項)

本資料は石油天然ガス・金属鉱物資源機構(以下「機構」)調査部が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。

るための埋蔵量基盤を確立できたとの見方をする向きもある。

いずれにせよ Petrobras は厳しい状況の中、探鉱・開発を進めざるを得ないわけで、政府、Petrobras は以下のような対応策を検討していると伝えられている。

(1)ライセンスラウンド実施時期

ブラジルでは、2013年に3回のライセンスラウンドを実施したばかりで、石油会社、国内の資機材会社、サービス会社はいずれも次のライセンスラウンドまでに時間を必要としているとの観点から、ANP の Chambriard 長官等が、次回のプレソルトライセンスラウンドは2016年、第13次ライセンスラウンドは2015年以降に実施すべきであると主張していた。Petrobras に追加してプレソルトで生産する権利が付与されたことで、Petrobras への負担を増やさないために、第2次プレソルトライセンスラウンドは2016年に、第13次ライセンスラウンドは2015年上半期(6月が有力)に実施される模様である。

(2)石油製品価格引き上げ

Petrobras の財務状況を改善し、探鉱・開発に資金が向けられるように、2014年10月の大統領選挙後に、政府がガソリン等石油製品価格の引き上げを認めるのではないかと観測が強まっている。

(3)プレソルト開発に関する法制度の変更

プレソルトの新規鉱区については、Petrobras がオペレーターを務め、鉱区権益の最低30%を保有することがプレソルト開発法で定められている。Petrobras を中心にプレソルトの資源開発を進め、それによりブラジルも発展を遂げようとする制度であったが、これが Petrobras の負担を過度に増加させ、よりスムーズに進展するはずのプレソルト開発の出端を挫いている感がある。

ブラジル政府も、Petrobras がプレソルトの油田開発を推進するために資金面、技術面での支援を必要としているということを理解しており、プレソルトの新規鉱区で Petrobras 以外の企業にもオペレーターを務めさせることを含め、プレソルトの探鉱・開発に係る政策を再調査することを検討している⁹との情報がある。

また、10月の大統領選挙で Rouseff 大統領以外の候補者が選出されれば、Petrobras 以外の企業もプレソルトの新規鉱区のオペレーターとなることが可能になり、プレソルト、プレソルト以外のいずれを対象とするライセンスラウンドも毎年実施されるようになるのではないかと見方¹⁰もある。

ブラジルでは、通常、Petrobras も他の企業とともに入札に参加し鉱区権益を取得しているが、今回入札を経ずにプレソルトで生産を行う権利が付与されたことで、IOC がブラジルのプレソルトで探鉱・開発を行う機会が減少したとの指摘もあり、多くの企業が納得のいく制度の整備が望まれる。

⁸ Financial Times 2014/6/26

⁹ Business Monitor International 2014/5/20

¹⁰ Rigzone 2014/5/19

Global Disclaimer(免責事項)

本資料は石油天然ガス・金属鉱物資源機構(以下「機構」)調査部が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。

(4)Petrobras、資産売却

Petrobras の Foster CEO は、今回の資金を捻出するため、同社は今後 5 年間で 110 億ドルの資産売却を行う可能性があると発言した。

現在、Petrobras は Libra 鉱区の権益 40% を保有しているが、プレソルト開発法で定められたプレソルト新規鉱区の Petrobras が保有しなくてはならない権益の比率は 30% となっているため、同油田の権益 10% を売却する可能性も考えられる。また、今回 50 億バレルを超えて生産することを認められた鉱区については、Petrobras が権益 100% を保有しており、この一部を売却する可能性もあるとみられている¹¹。

(5)ローカルコンテンツ

資機材等の調達を容易にするため、政府がローカルコンテンツの目標値引き下げを行うのではないかとの見方がなされている。

3.環境問題や各種疑惑等、探鉱・開発に影響?

2014 年に入り、環境問題や Petrobras を巡る各種疑惑、Petrobras 従業員のレイオフ等これまであまり取りざたされたことのない問題が大きく取り上げられるようになってきている。2014 年中に期待される Abreu e Lima 製油所の完成と合わせて、今後の Petrobras やブラジルの探鉱・開発に大きな影響を与える可能性があり、動向が注目される。

(1)環境問題

Rio de Janeiro 州立大学は、Santos Basin の油流出量は Campos Basin の 400 倍であるとの調査を発表した。この調査によると、2008～12 年に Santos Basin では原油 33,300 リットルを生産する毎に 1 リットルの原油が流出した計算になるという。ブラジル平均では 349,600 リットル、Campos Basin では 1,360 万リットルを生産する毎に 1 リットルが流出している計算になるという。同レポートは、Santos Basin で原油流出が多いのは、技術的に探鉱・開発を行うことが難しいためとしている¹²。

Petrobras はこの調査結果を否定し、例えば 2014 年は Santos Basin では一度の油流出もないと主張しているが、環境規制強化につながる可能性もあり、引き続き注視していく必要があると考える。

(2)Petrobras を巡る疑惑

不当に高い価格で米国の Pasadena 製油所を買収した問題や SBM Offshore から職員への贈賄問題等 Petrobras を巡る疑惑に関して、2014 年 4 月に複数の議会調査委員会が設置され、調査が行われている。

¹¹ Eurasia Group Note “Brazil:Contract extension to Petrobras makes opening of presalt in 2015 more likely”

¹² Reuters 2014/7/8

Global Disclaimer(免責事項)

本資料は石油天然ガス・金属鉱物資源機構（以下「機構」）調査部が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。

SBM Offshore は、贈賄容疑の調査中は入札に参加しない旨を発表していたが、7 月に入り Petrobras は SBM Offshore との契約が解除されることになれば、2014 年から 2018 年の Petrobras の利益は 150 億ドル減少することになるだろうとの推定を発表した。Petrobras によると、同社の原油生産のうち SBM Offshore のプラットフォームのレンタルが占める割合は 2014 年は 9% で、2017 年には 14.3%、2018 年には 11.2% となるとされていた。SBM Offshore との契約が解除されれば、Petrobras の原油生産は 2014 年に 19 万バレル/日、2017 年に 39.2 万バレル/日、2018 年に 37.3 万バレル/日減少すると予想されている。

(3) Petrobras 従業員のレイオフ

ブラジルでは 2015 年までにプレソルトの探鉱・開発だけで 46,000 人の雇用が必要となり、熟練労働者の不足が探鉱・開発に影響を与える可能性がある¹³。ブラジル以外から労働者を集めたり、給与水準を引き上げたりすることも必要となる模様だ。

Petrobras は 2002 年から 2012 年に 32,000 人を新規雇用した。しかし、長年勤務した Petrobras 従業員が退職期を迎え、このように新たに雇用を進めているのだが、経験のある熟練労働者は短期間では育たず、ギャップを埋めるのには 10~15 年かかるとしている。そのような中、Petrobras は 2014 年 1 月に、コストを削減し、生産性を上げるため、従業員 85,000 人の約 10% にあたる 8,379 人をレイオフする計画を発表した。55 歳以上、退職後も引き続き働いている者が主な対象とされており、熟練労働者不足に拍車をかけてしまうのではないかと懸念されている。

(4) Abreu e Lima 製油所完成

Abreu e Lima 製油所(精製能力 23 万バレル/日) が 2014 年 11 月に完成する予定だ。同製油所は、権益 40% を持つことが検討されていた PDVSA が負担分 10 億ドルを支払わず、そのため完成が遅れ、建設コストも当初予定の 25 億ドルが 185 億ドルに高騰してしまった¹⁴。同製油所が完成すれば、ブラジルのディーゼル輸入量が減少する見通しで、Petrobras のディーゼル輸入の逆ザヤ改善につながるものと考えられる。

¹³ BNamericas 2014/3/6

¹⁴ Business Monitor International 2014/5/1

Global Disclaimer(免責事項)

本資料は石油天然ガス・金属鉱物資源機構(以下「機構」)調査部が信頼できると判断した各種資料に基づいて作成されていますが、機構は本資料に含まれるデータおよび情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、本資料は読者への一般的な情報提供を目的としたものであり、何らかの投資等に関する特定のアドバイスの提供を目的としたものではありません。したがって、機構は本資料に依拠して行われた投資等の結果については一切責任を負いません。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、機構資料からの引用である旨を明示していただきますようお願い申し上げます。